

みんなの力で命と暮らしを守ろう 9

防災・減災をテーマに、命を守るためにできる、さまざまな情報を紹介しています。
家族をはじめ、身近な人たちと情報を共有しましょう。

《問合せ》防災課 ☎23-1111

自主防災組織の活動事例 3～中筋地区の取組み～

今月は、中筋地区の取組みを紹介します。台風23号の記憶を風化させないため、11月9日に中筋小学校体育館で台風23号10周年メモリアル写真展が開催されました。

今回の写真展を企画・運営したのは、ひょうご防災リーダーで防災士の高木一成さんです。高木さんは「中筋地区は、水害に弱く、内水がすぐにたまってしまう。台風23号の水害から10年にあたり、何かできないか」と考え、写真展を計画。中筋地区公民館の館長に相談したところ、中筋地区公民館主催の文化祭の会場の一角に写真を展示することが決まりました。当日は、会場に訪れた多くの人が写真展に立ち寄り、当時のことに思いを巡らせていました。



《防災士の高木一成さんから》

平成23年に防災学習会を受講したことを契機に、翌々年に防災リーダー養成講座を受講しました。数年前まで神戸で生活していたため、平成7年の阪神淡路大震災は経験しましたが、平成16年の台風23号は経験していません。

今回の写真展の開催にあたり、ひょうご安全の日推進県民会議と市防災課の協力を受けました。

写真展では、次の三つの柱を重点的に伝えました。



防災士のユニフォームを着て活動を紹介する高木防災士(左)と中川 茂防災士(右)

- ①防災は、日頃の訓練が大事
(災害時に訓練以上のことはできない)
- ②防災は、早めの避難が大事
- ③自分の命は自分で守る。

また、10年前には生まれていなかった子どもたちに^{あめ}飴をなめてもらい「なめたらあかん台風と大雨」と伝えました。

このような取組みを来年度以降も続け、防災意識の高揚を図り、災害に強い中筋地区を実現したいと思います。専門的な知識を持った防災士が市内にもっと増えて活動し、各区から各地区、各地域、さらには市全体へと防災の取組みが広がることを期待しています。今後は、水害からの避難訓練、非常食の炊き出し訓練、防災グッズの紹介などができればと考えています。



飴をなめても、なめたらあかん台風と大雨

《兵庫県防災士会・豊岡ブロックの取組み》

兵庫県防災士会・豊岡ブロックの防災士15人が、11月5日に西宮市で開催された西宮市総合防災訓練に参加しました。豊岡ブロックの防災士は、避難所への毛布の配布、仮設トイレの設置、炊き出し訓練などに従事しました。この訓練に参加した防災士の岩崎夏雄さんは「訓練に参加していい勉強になった。豊岡市でも、避難所で市民を受け入れる訓練が必要だと感じた。ぜひ、多くの人に訓練に参加してもらい、災害時の対応方法を伝えたい」と話していました。

発行／豊岡市
編集／政策調整部秘書広報課

〒668-8666
兵庫県豊岡市中央町2番4号
URL <http://www.city.toyooka.lg.jp>

(支所)
竹野 ☎47-1111
出石 ☎52-3111
日高 ☎54-4232
但馬 ☎54-1100